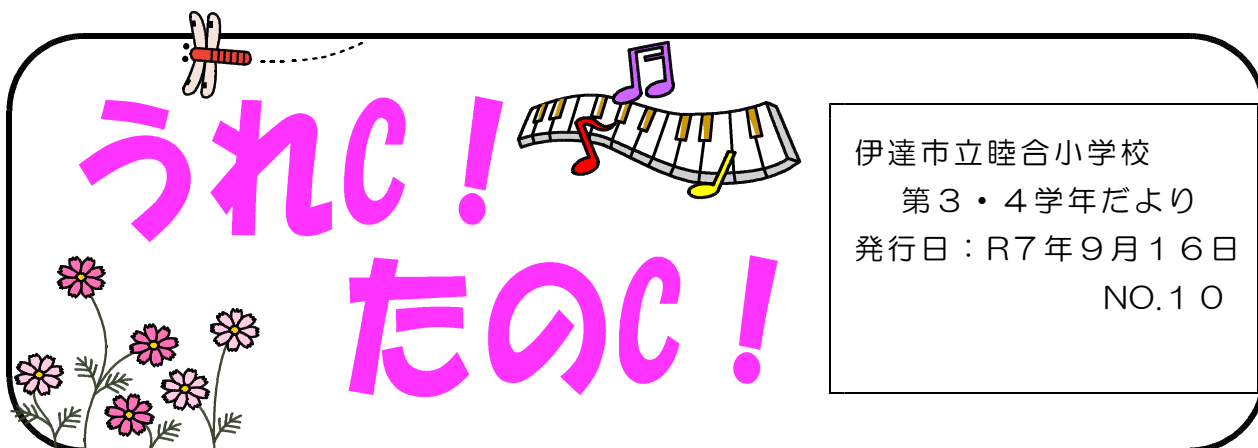
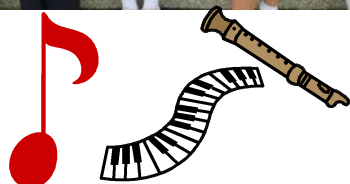
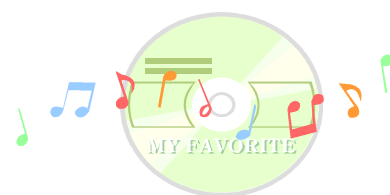




～音楽祭特別号～

先日の音楽祭には、全家庭の保護者の皆様にかけつけていただき、ありがとうございました。子どもたちの発表はいかがだったでしょうか。7月の授業参観の頃に比べると、ぐっとレベルアップした子どもたちの姿だったのではないのでしょうか。発表に慣れるために9月2日には1・2年生、3日には全校生の前で発表させていただきました。特に、全校生の前では恥ずかしくて、いつもの半分くらいの声しか出なかったもので、とても心配しました。練習では、「（発表の間は）先生しか見ない!」「一音一音に心を込めて!」「リズムにのって元気いっぱい」の3つの約束をして、本番に臨みました。本番では、リコーダーの音色のよさ、豊かな表情と楽しさが伝わる表現力等について、審査員の方からもお褒めの言葉をいただきました。

子どもたちも満足いく出来映えだったらしく、「楽しく発表できた!」という声がたくさん聞かれました。子どもたちの作文の抜粋をご覧ください。



- () 今朝、きんちょうしてきんちょうして、ずっときんちょうしてたけど、本番はきんちょうしませんでした。それは、先生から目をそらさなかったから、そしてお客さんを知らない人だから、と思い込むことができたからです。今日は、いつもの150%で歌えました。先生から教えてもらったことを振り返りながら音を出してがんばれました。
- () 全校生の前で発表したときは、きんちょうして声がぜんぜん出なかったけど、ホールではきんちょうしないで声が出ました。練習ではできなかったけど、え顔でうでをふっていたらきんちょうしないで歌えました。友達のえ顔もすごくよかったです。みんなの声が大きかったので、ホールの後ろまでとどいたと思います。
- () 私が一番いんしょうに残ったのは、中学生の発表です。見たことのない楽器もあって、ドラムが特にかっこよかったです。「コンフィデンスマン」の曲が一番気に入りました。私は中学校で吹奏楽部に入ってドラムをえんそうしたくなりました。
- () みんなもいつもより大きな声が出ていたし、え顔もすごいと思いました。自分的にはちょっとまちがえてしまったけど、なんとかのりきれました。いつもよりきれいな音が出せたと思います。
- () え顔で歌うのは、はずかしくてできなかったけど、いつもの2倍の声で歌えたのでよかったです。また、先生が言っていた「リズムに合わせてうでをふる」というのはできました。途中で先生の言葉を思い出して、なんとかのりこえることができました。
- () 本番前に、発表を全校生に見てもらったときは、はずかしくて声が出せなかったけど、その時に人に見られることになれたので、本番ではニコニコして発表できました。他の学校の発表では、いろいろな楽器を使っていて、リズム感がすごかったです。
- () 練習をちゃんとやった日やいやだった日もあったけど、ママに見てもらいたくてがんばりました。はずかしかったけど、元気100倍の声が出せて楽しかったです。みんなと元気に歌って、にこにこして楽しかったです。
- () ぼくはきんちょうに弱いので心配でしたが、会場には知らない人がほとんどだったので、あまりきんちょうしないでできました。リコーダーは、みんなで心を一つにしてできたし、歌では大きい声が出せました。前の日立てた、「先生の指揮をしっかりと見て発表する。」という自分のめあてがたっせいできてよかったです。
- () 初めての音楽祭でがんばったことが二つあります。一つ目は、先生が言っていたように、演奏しているときも構えるときも、心を一つにしてできたことです。二つ目は、みんなでリズムに乗って手をふってすごく楽しく歌えたことです。いつまでも、この楽しさをわすれられません。